

下地調整材・補修材 (0~5 mm)

Aモル#20

【施工要領書】

平成20年10月10日



二瀬窯業株式会社

用 途

適応下地 コンクリート面、ブロック面、ALC面等
 塗厚0～5mmの下地調整、補修材
 ※ タイル下地には使用しないで下さい。

施工手順**1. 下地の確認**

- (1) 下地面の突起物、レイタンス、硬化不良などによる脆弱部分、型枠離型剤などの油脂分は、サンダー、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ等で除去し、水洗いを行って下さい。
- (2) 下地面の目違い・ジャンカ・豆板・大きなひび割れ・大きな気泡穴・破損部分は予めポリマーセメントモルタルで下地調整・補修を行って下さい。
 ※下地調整・補修を行った際には、24時間以上養生を行って下さい。
- (3) 露出した鉄筋・番線・釘等は錆を除去した後、エポキシパテ等で防錆処理して下さい。

2. 吸水調整

- (1) 下地の清掃が終わった後、ユニレックス3の3倍希釈液にて吸水調整を行って下さい。下地表面が乾燥した後、Aモル#20の施工に移って下さい。目安としては4時間以上です。
 ※下地の吸水が大きい場合はユニレックス3の3倍希釈液を塗布した後、乾燥後もう一度ユニレックス3の3倍希釈液を塗布して下さい。

【希釈配合】

3倍希釈液…ユニレックス3	1L	+	清水	2L
ユニレックス3	270m ² /缶		(18L/缶)	

3. 材料の混練

- (1) Aモル#20 1袋(25kg)にユニレックス3を1Lと清水約7.5Lを加えてハンドミキサー等で混ざりムラのないよう均一に練り混ぜて下さい。

調合…Aモル#20	25kg	+	ユニレックス3	1L	+	清水	約7.5L
Aモル#20	約7m ²		(塗厚3mm時)				

4. 塗り付け

- (1) 施工面にピンホール等があれば、まず拾い塗りをして下さい。
- (2) 施工面に対してコテ圧を十分にかけてしごき塗りを行って下さい。
- (3) しごき塗りした後、追っかけにて所定の厚みまで塗り付けて下さい。

5. 養生

- (1) 塗り付け後に、降雨雪の恐れのある場合、または、通風・日照の激しいときはシート掛け等の保護養生を行って下さい。
- (2) 夏場施工の際には、Aモル#20の塗り付け翌日に散水養生を行って下さい。
- (3) 塗り付け後の養生期間は7日以上とし、その後、次工程に移って下さい。

注意事項

1. 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないで下さい。
2. 直射日光・風雨時には、シート掛け等十分な養生をして下さい。
3. Aモル#20の保管は、湿気を避ける場所にして下さい。
4. Aモル#20には、当社が指定したもの以外のものを混入しないで下さい。
5. 混練した材料は40分以内に使用して下さい。
6. Aモル#20のタイル下地への施工は避けてください。